

仁科芳雄博士ゆかりの地を訪ねて

イギリス・デンマーク報告

日 時： 令和7年11月23日（日）14:00～15:00

場 所： 仁科会館2階 仁科記念ホール

講 師： 田主 裕一朗（仁科会館）

申込み： 不要

参加費： 無料

「日本の原子物理学の父」仁科芳雄博士は1920年代に7年間ヨーロッパに留学しました。最先端の物理学を研究し、世界に名が知られる研究者となりました。

今年9月、仁科会館の田主事務局長がイギリスのケンブリッジ大学キャベンディッシュ研究所とデンマークのコペンハーゲン大学ニールス・ボア研究所を視察してきました。イギリスやデンマークの風景も含め100枚以上の写真を紹介しながらお話しします。



11月19日(水)19時から21時まで、オンラインで「理化学研究所・仁科芳雄博士はニールス・ボア研究所から何を持ち帰ったのか」が開催されます。視察に参加した3名（理化学研究所OBの油谷泰明様、東京科学大学名誉教授の原正彦先生、仁科会館の田主）と、東京大学教授の長谷川修司先生による雑談会で、今回の報告会より専門的な話になります。詳しくは主催者のホームページをご覧ください。仁科会館のホームページでもご案内しています。